

| | | | | |
|-----------------------|--|--------------------------------|---|-------------|
| 科目分類 | 専門基礎分野 | 学 年 | 1 年 | 担当教員の氏名・職名 |
| 授 業 科 目 名 | 基礎薬理学 | 学 期 | 後 期 | 西園 憲郎 (薬剤師) |
| | | 単 位 数 | 1 | |
| | | 時 間 数 | 20 | |
| 目 的 (ねらい) | 薬物療法と看護を理解するために、薬物の特徴・作用機序・生体に及ぼす影響等薬理学の基礎知識について学ぶ。 | | | |
| 目 標 | 1. 薬物の人体における作用と動態について理解する。 2. 病態に応じて使用する薬剤の機序を理解する。 | | | |
| 授 業 計 画 | 回数 | 単元項目 | 内 容 | 授 業 形 態 |
| | 1 | 医薬品総論 | ・ 医薬品の分類、医薬品の作用とその影響 | |
| | 2 | 主な生活習慣病に使用する薬 | ・ 生活習慣病、高血圧、糖尿病治療薬 脂質異常症、動脈硬化 | |
| | 3 | 生活習慣病に随伴する循環器 障害と薬物療法、脳血管障害 | ・ 不整脈、狭心症、心不全、心筋梗塞 | |
| | 4 | がん・痛みに使用する薬 | ・ 脳血管障害に使用する薬 ・ がんの薬物療法に使用する薬 ・ がん性疼痛に使用する薬、 | |
| | 5 | 脳・中枢神経系疾患で使用する薬 | ・ 抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬 | |
| | 6 | 精神疾患、 感染症に使用する薬 | ・ アルツハイマー型認知症治療薬等 ・ 抗精神病薬、うつ病、抗不安薬、睡眠剤 ・ 細菌感染症 | |
| | 7 | 救命救急時に使用する薬 〃 | ・ 抗菌薬の作用としくみ ・ 消毒剤、救急薬品について ・ 急性中毒に対する薬物療法 | |
| | 8 | アレルギー・免疫不全状態の 患者に使用する薬 | ・ 麻酔時に使用する薬 ・ 呼吸器疾患に用いる薬 ・ 非ステロイド系炎症薬 | |
| | 9 | 消化器系疾患に使用する薬 その他の症状に使用する薬 | ・ 消化性潰瘍治療薬 (1) 代謝機能障害 (2) 内分泌障害 | |
| | 10 | その他の症状に使用する薬 | (3) 血液・造血器障害 (4) 腎機能障害 (5) 運動機能障害 (6) 性・生殖機能障害、泌尿器 (7) 皮膚障害 (8) 視覚障害 (9) 痛みに使用する薬 (10) 水分・電解質・カロリー不足 | |
| 教 科 書 | ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学 (メディカ出版) | | | |
| 参 考 文 献 | | | | |
| 評 価 方 法 | 定期試験 100% | | | |
| 関 連 科 目 | 臨床薬理学演習 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 病理学 看護学 | | | |
| 自 己 学 習 に 関 する 指 針 | 授業終了時の翌週にミニテストを実施し授業習得状況を把握する。 | | | |
| そ の 他 の 通 知 事 項 | 随時質問に応じます。 | | | |